

目次

第一章	見出しレベル2
第二章	マークダウンの各記法
第三章	青空文庫的拡張
第四章	会話文
第五章	スタイルの設定用

はじめに

これはサンプルファイルです。

第一章 見出しレベル2

一 見出しレベル3

見出しレベル4

見出しレベル5

見出しレベル6

ニ ジャンプ・レベル 3ー2

ジャンプ・レベル 6

見出しレベル 6ー2

三 見出しレベル 3-3

見出しレベル 4-2

見出しレベル 4-3

見出しレベル 4-4

第二章 マークダウンの各記法

一 強調

この日本語は斜体にならないことがあります。

これも斜体にならないことがあります。

このテキストは**強調（太字）**になります。

これも**強調（太字）**になります。

これらを**組み合わせ**られます

これは取り消し線になります。

二 リスト

- ・ 食う

- 食う

- 食う

・寝る

。寝る

■寝る

・遊ぶ

。遊ぶ

■遊ぶ

一、食う

二、寝る

三、遊ぶ

一、食う

二、寝る

三、遊ぶ

一、食う

二、寝る

三、遊ぶ

・ 食う

・ 寝る

・ 遊ぶ

・ 食う

・ 寝る

・ 遊ぶ

一、 食う

・ 食う

・ 食えば

・ 食うとき

二、 寝る

・ 寝る

・ 寝れば

・ 寝るとき

三、 遊ぶ

・ 遊ぶ

- 遊べば

- 遊ぶとき

明日の天気

午前中は晴れ、夕方頃から曇り

三 タスクリスト

タスクリストの表現はUML形式へ出力すると致命的なエラーとなるので要注意。

画像のサンプル。

四 図・画像

-
- ✓
- ✓
- 
- ☐
- ☒
- ☒

参考…各種チェックマーク記号

- [x] 完了したアクションアイテム 1
- [x] 完了したアクションアイテム 2
- [] 残課題 1

あ
い
う
え
お



あ
い
う
え
お

幅・小の表示



あ
い
う
え
お

幅・大の表示



あいうえお





あ
い
う
え
お




```
![高さ・特小の表示](sample.jpg){.y-ss}
```

```
![高さ・小の表示](sample.jpg){.y-s}
```

```
![高さ・大の表示](sample.jpg "図マウスオーバータイトル"){.y-l}
```

```
![高さ・特大の表示](sample.jpg "図マウスオーバータイトル"){.y-ll}
```

```
![全高の表示](sample.jpg "図マウスオーバータイトル"){.y-xl}
```

五 図・画像の回り込み

これが画像に対する文字の回り込みのサンプルである。Kindle Previewer(EPUB形式)では回り込みを解除して表示されることが多々ある。

このサンプルでは図表式への自動的な番号付けをしていて、回り込みに十分な構造で出力されないため、回り込みをしない状態としている。そのため無視してよい。

[回りに戻る](#)

[回り込み前の文章。](#) [回り込み前の文章。](#) [回り込み前の文章。](#) [回り込み前の文章。](#) [回り込み前の文章。](#)



章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。
回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り
込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み
前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。

回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。
回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り
込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み
前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の
文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文
章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。
回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り込み前の文章。 回り
込み前の文章。

六 リンク

これはTOPへのリンクです

七 引 用

―段階の引用

―行目末尾にスペース×2で、2行に渡るケース

2段階目の引用 リスト等はぶら下らない

3段階目の引用

八 水 平 線

三つ以上の*―で水平線。スペースが入っていても良い。

文章と水平線



文章と水平線

文章と水平線

文章と水平線

九 インラインコード

インラインコードブロック `gem install hoge` じゃ。

一〇 コードブロック

```
# Space 4 つ以上のpre表記
```

```
class Hoge  
  def hoge  
    print 'hoge'  
  end  
end
```

```
.markdown-preview.markdown-preview {  
  pre, code {  
    white-space: pre-wrap;  
  }  
}
```

```
function add(x, y) {  
  return x + y  
}
```



```

1  ({
2    onWillParseMarkdown: async function (markdown) {
3      markdown = markdown.replace( /:::success[\s\S]*?:::/gm,
4      (success_alert) => {
5        success_alert =
6          '<div class="alert alert-success">\n' + success_aler
7      t.slice(10);
8        success_alert = success_alert.slice(0, -3) + "</div>";
9        return success_alert;
10     });
11
12     return markdown;
13   },
14   });

```

```

1  ({
    onWillParseMarkdown: async function (markdown) {
2      markdown = markdown.replace(/:::success[\s\S]*?:?:/gm, (succ
    ess_alert) => {
        success_alert =
            '<div class="alert alert-success">\n' + success_alert.sl
            ice(10);
3      success_alert = success_alert.slice(0, -3) + "</div>";
        return success_alert;
        });
4
5      return markdown;
6  },
7  });

```

```

1 ({
2   onWillParseMarkdown: async function (markdown) {
3     markdown = markdown.replace(/:::success[\s\S]*?:::/gm, (su
4 ccess_alert) => {
5       success_alert =
6         '<div class="alert alert-success">\n' + success_alert.
7         slice(10);
8       success_alert = success_alert.slice(0, -3) + "</div>";
9       return success_alert;
10    });
11  }
12  return markdown;
13 },
14 });

```

一
二
表

a列	b列	c列
a1	b2	c2
a3	b3	c3
a4	b4	c4

パイプテーブル

a列	b列	c列
a1	b2	c2
a3	b3	c3
a4	b4	c4

シンプルパイプテーブル

項目	説明
title	書籍名・H I 見出し
author	著者名
date	出版日
subtitle	副題
lang	日本語の場合の言語指定
dir	横書き (ltr) ・縦書き (rtl) の指定

長いテーブル長い長い長い

項目				説明
title title title				書籍名
author				著者名 著者名 著者名
date				出版日

項目	説明
title title title title title	書籍名
title	
	著者名 著者名 著者名 著者名 著
author	者名
	著者名
date	出版日

..
長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い
テーブル

長いテーブル長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い

項目	説明
title title title title title title title title title	書籍名
author	著者名 著者名 著者名 著者名 著者名 著者名 著者名 著者名 著者名 著者名
date	名 出版日

長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長い長いテ
ーブル

項目	説明
title title title title title	
title title title title title	
title	書籍名
title	
	著者名 著者名 著者名 著者名 著
author	者名 著者名 著者名 著者名 著者
	名
	著者名 著者名 著者名
date	出版日

一二 絵文字

絵文字の例



一三 上付き・下付き

上付の指定 30cm^3 1m^2

下付の指定 五₂₀

一四 脚注

今日のお昼ご飯はうどん[^1]です。

[^1]: 小麦粉と塩水を練り合わせて麺状に切った食べ物。魚介の出汁がきいたつゆにつけて食べる。

今日のお昼ご飯はうどん¹です。

一五 マーク

どうやらマークを表現できるがKindle Previewerではスタイルが制限されるようだ。

一六 数式

本文中に数式 $f(x) = \sin(x) + \cos(\theta) + \tan(\lambda) + 12$ を書く記述。

本文中に数式 $(1 + 2) \times 3 - 4.2 = 7$ を書く記述。

本文中に数式 $\int_a^b f(x) dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n f(x_i) \Delta x$ を書く記述。

本文中に数式 $x^2 + x^2$ を書く記述。

本文中に数式 $(1 + 2) \times 3 - 4! \cdot 2 = 7$ を書く記述。

本文中に数式 $x^2 + x^2$ を書く記述。

キャプションなしでブロックの数式を書く。

$$f(x) = s_{in}(x) + \cos(\theta) + \tan(\lambda) + 12$$

キャプションありでブロックの数式を書く (pandoc 拡張)。

0

$$(1 + 2) \times 3 - 4 \div 2 = 7$$

2

$$\int_a^b f(x)dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^{n-1} f(x_i) \Delta x$$

式 1

ν

$$x^2 + x$$

$$\sum_{n=1}^{100} 1$$

$$x^2 + x^2$$

$$\sum_{\substack{i \in A \\ 0 \leq j < n}}$$

$$x^2 + x^2$$

一七 対応されないルビ

ルビは今のところ主なマークダウンでは非対応。次のいずれかに対応している事例は見られたが、`filter`の適用・改造など個別の対応が必要になる。

- 難しい当て字 あてじ
- 難しい当て字の試験 あてじ テスト

一八 CriticMarkup` Admonition

「Admonition」アドモニションの記述を使うとサイドコンテンツをアイコン表示を伴った引用スタイルで表
現できる。

!!! note ノートを表現できます。

長い文章は複数行で。

表現できます。

!!! Note タイトルはカスタムできます ノートを表現できます。

!!! note “” タイトルは空白にもできます。

!!! Abstract ノートを表現できます。

!!! Info 情報を表現できます。

!!! Tip ティップスを表現できます。

!!! Success 成功を表現できます。

!!! Question 疑問を表現できます。

!!! Warning 警告を表現できます。

- :: Failure 失敗を表現できます。
- :: Danger 情報を表現できます。
- :: Bug バグを表現できます。
- :: Example 例を表現できます。
- :: Quote 引用を表現できます。

第三章 青空文庫的拡張

青空文庫の記法の一部に対応（参考…青空文庫「ルビとルビのように付く文字」。縦書きの前提）。一部に試験的な拡張された表現を含む場合があります。

区切りを明示する文字へのルビ
文字へのルビ

文字《もじ》へのルビ

区切りを | 明示する文字《めいじするもじ》へのルビ

「往來の人を呼ぶ声喧しく、局女郎より遙劣りて鈍く見ゆるとて喧鈍と書かせたり」

国会図書館に掲げられているヘー・アレーティア・エレウテローセイ・ヒュマースの理念

人工知能

AIがおかしな結果を返すごとに思い出す Artificial Incompetence

人

工

無

能

スリーサイン

「銀河鉄道999」は日本のアニメ界を代表する名作のひとつである

いかなるときも木を見て森を見ずとなることには注意が必要である

[# 注記付き] 名 ※ [# 「 (銘々) 」 の注記付き終わり]
[# 左に注記付き] 名 ※ [# 左に 「 (銘々) 」 の注記付き終わり]

名※^(銘々)

名※ 「#左に「(銘々)」の注記付き終わり」

名※^(明々)と白※

「#左に「(白々)」の注記付き終わり」

名※ 「#左に「(明々)」の注記付き終わり」

と名※^(自々)

数多くの修整〔#「修整」に「ママ」のルビ〕の右にルビ

数多くの修整〔#「修正」に「ママ」のルビ〕の右にルビ、修正〔#「修整」に「ママ」の注記〕の左に注記

数多くの修整〔#「修整」の左に「パパ」のルビ〕の左に注記

数多くの修整〔#「修正」の左に「パパ」のルビ〕の左に注記、修正〔#「修整」の左に「パパ」の注記〕の左に注記

数多くの修正〔#「修正」の左に「ママ」のルビ〕の左に注記、修正と修正〔#「修正」の左に「パパ」の注記〕の左に注記

数多くの修整^{ママ}の右にルビ

数多くの修整「#」修正に「ママ」のルビ」の右にルビ、修正「#」修整に「ママ」の注記」の左に注記
数多くの修整「#」修整」の左に「パパ」のルビ」の左に注記

数多くの修整「#」修正」の左に「パパ」のルビ」の左に注記、修正「#」修整」の左に「パパ」の注記」の
左に注記

数多くの修正「#」修正」の左に「ママ」のルビ」の左に注記、修正と修正「#」修正」の左に「パパ」の注記」の左に注記

:::chiyose

今日はいろいろあった。

:::

今日はいろいろあった。

:::chitsuki

昨日もいろいろあった気がする。

:::

昨日もいろいろあった気がする。

:::page-center
一昨日の憂鬱 其の一
:::

一昨日の憂鬱 其の一

- 外字指定 ↓ ユニコードでそのまま入力
- 同行中見出し、窓見出し ↓ 大変そう
- 訓点、訓点送り仮名 ↓ 上付き・下付きで代用
- 傍点・○●◎▲△▽× ↓ ルビで代用
- 傍線 ↓ 種類に制限されるが、強調*で代用

第四章 会話文

花子は言った。にこやかに。

「1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

9

太郎は答えた。朗らかに。

「1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

9

花子は言った。にこやかに。

太郎は答えた。朗らかに。

花子は言った。にこやかに。

太郎は答えた。朗らかに。

第五章 スタイルの設定用

スペース

[illegible]

コードブロック

□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□VSCode□□EPUB□□Kindle□□GIMP□	半角
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□{ }() [] □□" ' ` ^ □□? ! □□□□□□	半角記号
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□『 』 「 」 () □□” ’ ‘ ? ! □□□□	全角記号
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□O O □□I l 1 □□! □□- - □□	似た文字
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□00□□□□I l 1 ! : □□□□□□□□	半角の似た文字
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□ □ □ □□□□□□□□□□□□	スペース
□□□□□□□□□□□□□□□□	

二 文字数テスト

7	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

三 行数テスト

6	5	4	3	2	
7	6	5	4	3	1
8	7	6	5	4	2
9	8	7	6	5	3
0	9	8	7	6	4
1	0	9	8	7	5
2	1	0	9	8	6
3	2	1	0	9	7
4	3	2	1	0	8
5	4	3	2	1	9
					0

2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7
3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8
4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9
5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2
8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4
0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5
1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6

8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4
0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5
1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6
2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7
3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8
4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9
5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2

4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9
5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2
8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4
0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5
1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6
2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7
3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8

0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5
1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6
2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7
3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8
4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9
5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2
8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4

6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2
8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4
0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5
1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6
2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7
3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8
4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9
5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7
1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8
2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9
3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2
6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4	3
7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5	4
8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6	5
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	6

お
わ
り
に

文献

引用文献

- ・ サンプル文献

参考文献

- ・ サンプル文献

奥付

- ・ 書名 チートシート
- ・ 著者・発行元 サンプルマン
- ・ 2024年一月一日 初版発行

一、小麦粉と塩水を練り合わせて麺状に切った食べ物。魚介の出汁がきいたつゆにつけて食べる。↑